

## 当キャンペーンにより支援できる開発事業

**バングラデシュ** 602 万円

### 女性の収入創出事業

女性が収入を得て、社会に参画することは、子どもや家族、地域全体の生活水準の向上をもたらします。女性への支援は進んではいるものの、病人を抱えているなど家から出る余裕がない、最も貧しい状況にある女性への支援は行き届いていませんでした。そこで、HFW が独自に活動地域の調査を行いリスト化した、もっとも貧しい女性 120 名を対象に、起業支援を行います。地域の女性自身が対象者の決定の中心を担い、対象となる女性がきちんと収入を得られるよう、地域の女性たちがみなで応援していく仕組みです。



**ウガンダ** 571 万円

### 井戸・公衆トイレの建設

#### 女性を対象とした有機果樹植林

ワキソ県カブブ区はトイレの普及率が約3割で、特に人が集まる市場付近の土壌は非常に汚染され、地下水から伝染病が蔓延する恐れがあります。同区の全7カ村に1カ所ずつ公衆トイレを建設し、また井戸が不足している同区内4カ村 16カ所に井戸を建設する資金の一部に使われます。また、カブブ区とカブンバ区 68カ村の女性 260 名を対象とした果樹植林と、ウガンダ事務所の運営費の一部にも使わせていただきます。



**ベナン** 567 万円

### 青少年・成人対象の識字教室

#### 幼稚園運営

ゼ郡ベト村で行われている識字教室は 2004 年に開始され、2006 年からはキャンペーンの支援により継続されています。当初、3教室 60 人の規模で始まったこの事業も、今では6教室 200 人以上の生徒が通っています。増え続ける「学びたい」という声に応え、読み書きを学ぶことで収入を得るための機会の拡充、生活の向上を目指します。また、幼稚園運営も継続し、農村部に住む3~5歳 90 名の子どもたちの教育の機会を支えます。



**ブルキナファソ** 567 万円

### 工具の提供・トイレ建設

収入向上を目的とした女性の協同組合の支援を継続して行ってきました。キャンペーンの収益で立ち上がった事業を元金に、女性が自分から新しい事業を始めた例もあります。今年度は、男性を中心としたグループに支援を拡大。農業の効率、生産性をアップさせるために、農耕具の提供を行います。

HFW が支援する地域でトイレ建設を行います。地域を挙げて衛生管理を行うことで、不衛生な環境から発生する病気や感染症を防ぎます。



\* 国内の啓発事業に 25% (約 1031 万円)、経費に 20% (約 824 万) を使わせていただきます。